



11月園だより

恩恵幼稚園

気温の変化とともに、山々の色合いが日ごと移り変わり、自然の美しさに心動かされます。神さまからいただいた恵みを感じ、感謝の気持ちや新たな力が与えられます。

どの季節にも色があり、音があり、においがあります。この月には、晩秋から冬へのそれらを、子ども達にたっぷり体験させたいと思います。幼い時の原体験がやがて、絵本や物語の情景をイメージすること、音楽や歌の世界を楽しむこと、食を喜ぶこと、そして私たちに良いものを与えたもう神様に感謝することへとつながっていくことを信じます。

年主題 ことばに満たされて～ひびきあう～

年聖句「その人は流れのほとりに植えられた木。」 詩編 1:3

11月の主題 共感する

11月の聖書の言葉

「同じ愛を抱き、心を合わせ、思いを一つにして」フィリピ2:2

11月の月のねがい

○秋の実りの豊かさや美しさにふれ、神さまに感謝する。

○友だちとアイデアを出し合ったり、イメージを共有しながら遊びこむようになる。

○様々な人の働きに関心をもち、身近に感じる。

○好きな絵本やお話が伝わり、イメージが広がり友だちと共有しながら過ごす。

♪11月の行事予定♪

5日(火) 絵本読み聞かせ・役員会 13:30～

7日(木) お茶(ばら)

8日(金) 七五三礼拝:教会(ばら・ゆり・ちゅうりっぶ)

11日(月) スイミング **9:00 出発**

12日(火) 角笛影絵(ばら・ゆり)・職員会議

13日(水) 防災ふれあいプラザ **(ばら・ゆり 8:15 登園)**

14日(木) 体操教室・習字(ばら・ゆり)

15日(金) 英語(ばら・ゆり)

18日(月) スイミング **8:55 出発**

19日(火) 感謝祭(野菜・果物をお持たせください)

20日(水) 資源回収

21日(木) お茶(ばら)

23日(土・祝) 家族の日:みそ作り

25日(月) リトミック

26日(火) 東小学校交流会 **(ばら 8:30 登園)**

延長保育休み 7, 12, 14, 21, 28 日

※いつもより早めの出発時間です

★お知らせとお願い★

- 8日(金)に武生自由キリスト教会で七五三礼拝を行います。ばら組・ゆり組・ちゅうりっぶ組が参加します。9:10に出発して歩いて行きます。雨天の場合は幼稚園で行います。すみれ組・たんぽぽ組は幼稚園で祈祷をしていただきます。千歳飴を差し上げますが、長寿の願いを込めた縁起物ですので、ご家族皆様で分けて召し上がってください。(朝倉製菓の無添加の飴です)
持ち物・服装:水筒・ハンカチ・はなかみ・冬帽子・スモック・歩きやすい靴
- 12日(火)にゆり組・ばら組は劇団角笛による影絵(観劇料は団体割引料金一人1200円)を文化センターへ観に行きます。9:30に出発します。
持ち物・服装:水筒・ハンカチ・はなかみ・スモック・冬帽子・歩きやすい靴
- 13日(水)は防災ふれあいプラザに、ばら組とゆり組が参加します。はしご車体験・消防スタンプラリーなどをして過ごします。バスが迎えに来ますので、**8:15には登園してください。**
持ち物・服装:名札、水筒、ハンカチ、はなかみ、冬帽子。幼稚園にある防災法被を着ます。(天候をみて雨具の準備をお願いします。)
- 19日(火)は感謝祭礼拝をします。お家にあります野菜や果物をお持たせください。お味噌汁等にさせていただきます。果物は感謝祭後の給食やお弁当のデザートでいただきますので、21日のお弁当には果物は入れないでください。
- 23日(土・祝)は家族の日で、マルカワ味噌の河崎さんに教えて頂きながら、ご家族みんなでみそ作りをします。詳しくは後日お知らせいたします。
- 26日(火)は東小学校の1、2年生との交流会にばら組が参加します。交流会は9:30~11:00を予定していますので、**8:30までに登園してください。**
持ち物・服装:ハンカチ・はなかみ・水筒・名札・スモック・冬帽子・内ズック・天候をみて雨具
- ちゅうりっぶ組・ゆり組・ばら組はなわとびをします。運動会のごほうびで頂いたなわとびを記名してお持たせください。
- 暖房を使用し始めましたら、お弁当を保温機で温めますので中身とお弁当箱をお考えになってお入れください。

- 菊人形遠足が順延になり、給食が中止になった分の給食費は11月分から差し引きます。11月分16食－1食＝15食分の請求額になります。

12月の予定

- 5日(木) 誕生日会(10月・11月・12月生まれ)
- 11日(水) ガラス拭き・クリスマス礼拝歌の練習
- 14日(土) 小学生クリスマス
- 18日(水) クリスマス礼拝(午前中保育)
- 20日(金) 2学期終了

11月の礼拝

主題 『共感する』

聖書の言葉

「わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。」(ヨハネによる福音書15章1節)

解説一もともとイスラエルはぶどうの産地でした。地中海沿岸の特有の寒暖差のある気候と、排水のよい火山灰の土壌が醸造用のぶどうを育てるのに適しています。旧約聖書にはノアの洪水のお話の後、箱舟から出たノアが農夫になり、ぶどう畑を作り始めたと書かれています。それほど古くからぶどう畑と葡萄酒は人々との生活の中にかかわりがあったことなのでしょう。イエスさまは、いろいろなたとえを使ってお話になりますが、それは聞く人たちの生活に馴染んだ事柄を通してイエスさまのことがよくわかるようになるためでした。「わたしの父は農夫である」という神様のことです。この続きには「私につながっているが実を結ばない枝はみな、父が取り除かれる。しかし、実を結ぶものはみな、いよいよ豊かに実をむすぶように手入れをなさる」と書かれています。農夫にとって、一つ一つの花芽は大事です。一つとして失いたくはありません。また農夫はすべての芽が花を咲かせて豊かに実ってほしいと願うので、労苦を惜しまず手入れをします。とくにぶどうの木は、たくさんの枝を茂らせるそうです。実のついたものだけを残すことによって、実をつける枝には幹の栄養が十分に行き渡ります。神さまはこの世をお造りになっただけでなく、実りをもたらすようにお支えくださるのです。11月に収穫感謝祭があります。豊かな実りを感謝するとき、目に見えない神様のご配慮があることに心を向けたいものです。イエスさまがご自分のこと

を「真のブドウの木」とおっしゃっているのはどんな意味があるのでしょうか。イエスさまはもう一度言われました。「私はぶどうの木、あなたがたはその枝です。ぶどうの枝が木につながっていないならば自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも私につながっており、私もあなたがたにつながっているため豊かに実を結びます。あなたがたは私を離れては何もできないのです。神さまの御業は実は人間の目で見ることができません。そしてその実はイエスさまにつながっているときに豊かに実を結ぶのです。人間は自分の力で成長し、花を咲かせ、実を結んだかのように思ってしまう。しかし、イエスさまは、目に見えない神様の御手が私たちを支え、実りを与えてくださると教えています。そしてその神さまはイエスさまによって初めて私たちの知るところとなるのです。イエスさまは「わたしたちにつながっていないさ」とおっしゃいます。それはイエスさまのことがよく聞いて、よく理解することです。イエスさまのことが私たちに向けられた神様の愛のことがばです。(キリスト教保育11月号抜粋、参照)

☆箸の持ち方は大丈夫ですか？

ばら組は入学に向けて鉛筆の持ち方も練習しますが、箸の持ち方にも通じますので、お子様の箸の持ち方をご覧になって、正しく持てるように練習をお願いします。ゆり組・ちゅうりっぷ組のお子様も、箸の持ち方を正しくできるように、木の箸(六角箸が望ましい：100均店にもあります)またはエジソン箸などの矯正箸を持たせてください。普通のプラスチックの箸だと、持ち方の練習は困難です。



☆新聞に掲載されました！

三木あいさんが描いた幼稚園の壁画が福井新聞、県民福井に掲載されました。10月25日に、子どもたちの希望で、ハリネズミ、アリ、ダンゴムシも描き足していただき、これからも少しずつ増えていく予定です。

☆玄関の壁に新しい絵が飾られています♪

敦賀市出身イタリア在住の絵本作家の刀根里衣さんが、幼稚園用に絵を描き下ろしていただき、出来上がりました。